



コレクション特別公開「さくらそう品種展」 開催および報道内覧会のご案内

国立科学博物館筑波実験植物園（園長：遊川 知久）は、来る4月19日（土）から4月27日（日）まで、コレクション特別公開「さくらそう品種展」を開催いたします。

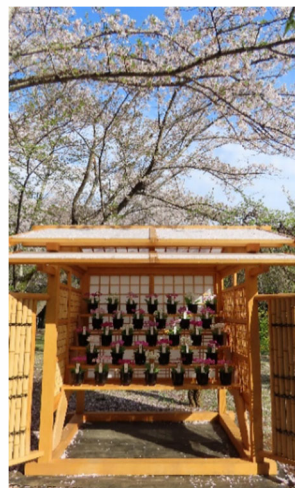
サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。そのわずか1種の野生種をもとに、江戸時代から現代までに多様な園芸品種が作出されてきました。

今年も本特別公開では、筑波大学が保有するコレクションの中から、100種類以上の園芸品種を展示します。野生のサクラソウに関する研究や、さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立までをご紹介します。

江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をぜひご覧ください。

つきましては、展示のオープンに先立ち、4月18日（金）午後2時30分～3時30分の間、報道内覧会を筑波実験植物園（茨城県つくば市）にて実施いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

報道内覧会への参加をご希望の方は、下欄のお問い合わせ先にご一報のうえ、午後2時15分に筑波地区研究管理棟1階 玄関ホールにお越しください。



伝統的な鑑賞方法「桜草花壇」

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉祐一 中山瑠衣

担当研究員：田中 法生（植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<https://tbg.kahaku.go.jp/>

コレクション特別公開「さくらそう品種展」実施要項

1. 目 的 日本の野生サクラソウを遺伝資源として育成されてきた、伝統園芸のさくらそう品種を、江戸時代から続く方法で展示し、伝統園芸の奥深さを伝える。
2. 名 称 コレクション特別公開「さくらそう品種展」
3. 主 催 独立行政法人 国立科学博物館 筑波実験植物園
筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
4. 協 力 筑波大学さくらそう里親の会、NPOつくばアーバンガーデニング
5. 会 期 令和 7年 4月 19日(土)～令和 7年 4 月 27 日(日)計8日間
(4 月 21日(月)休園)
6. 場 所 国立科学博物館筑波実験植物園教育棟及びその周辺
7. 展 示 構 成

(1) 教育棟

① サクラソウとは

さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立についてパネル紹介

② さくらそう専門家の推し品種(専門家のおすすめの園芸品種と鑑賞のポイントを紹介)

③ さくらそう品種保存の現場を紹介

④ 芽分け作業の解説(スライドショー)

⑤ クイズラリー(景品はシール)

⑥ スタンプラリー(景品はシール)

(2) 教育棟周辺(日本庭園周辺)

① 桜草花壇

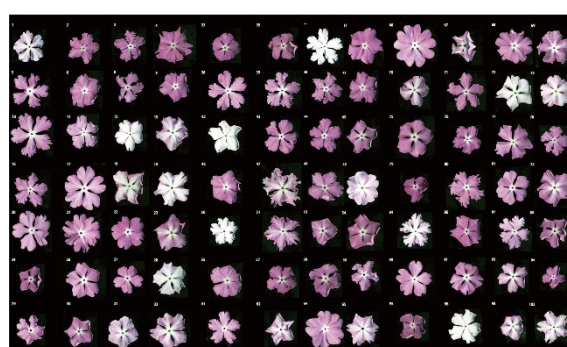
江戸時代に築かれた伝統的な手法で展示

② さくらそう展示台6台

常時 100 種類以上を展示



サクラソウ自生地の様子



園芸品種の交配から生じる多様な色・形



伝統的な鑑賞方法「桜草花壇」



さくらそう展示台の様子



美女の舞(びじょのまい)



飛燕(ひえん)



獅子頭(しがしら)

コレクション特別公開

さくらそう品種展

筑波大学コレクションの中から100種類以上の園芸品種を展示



満月(まんげつ)



紅麒麟(べにきりん)



小桜源氏(こざくらげんじ)



鈴の音(すずのね)



月の都(つきのみやこ)



開花状況により、写真の品種が展示されないこともあります。あらかじめご了承ください。

2025 4/19(土) - 4/27(日)

[開園時間] 9:00~16:30 (入園は16:00まで)
4/26(土)・27(日)は9:00~17:00
(入園は16:30まで) 休園日: 4/21(月)

[入園料] 一般 320円 団体(20名以上) 250円 高校生以下および65歳以上は入園無料 障害者手帳をお持ちの方およびその介護者1名無料

[主催] 国立科学博物館 筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

[協力] 筑波大学さくらそう里親の会、NPO つくばアーバンガーデニング

最新の情報は
こちらから →



筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL: 029-851-5159 FAX: 029-853-8998
<https://tbg.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。その野生種をもとに、江戸時代から現代までに多様な園芸品種が作出されてきました。「さくらそう品種展」では、筑波大学が保有するコレクションの中から、100種類以上の園芸品種を展示します。江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をご覧ください。

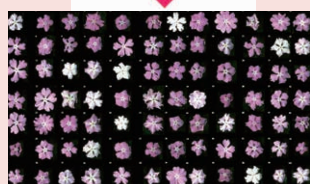
第一会場「教育棟」

さくらそうを知る

さくらそうとはどのような植物か？野生のサクラソウから、さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立までを、パネルで解説します。



サクラソウの自生地の様子



園芸品種の交配から生じる多様な色・形

「さくらそう専門家の押し品種」

さくらそうを究めた2人の専門家が、おすすめの園芸品種と鑑賞のポイントをパネルで紹介します。さくらそうを見る眼が変わるかも？

「クイズラリー」

さくらそう解説パネルを読みながらクイズに答えて、さくらそうについての知識を深めましょう。参加者には「さくらそうオリジナルシール」をプレゼント。

※数に限りあり。無くなり次第終了

シール(イメージ)



さくらそうを育てる

筑波大学と「さくらそう里親の会」が増殖したさくらそう品種を販売します。

※当日分が無くなり次第終了します。

※一人あたりの購入数制限あり。



第二会場「日本庭園周辺」

1種の野生種から作出されたとは思えないほどの多彩な色、形、姿をお楽しみください。



① 桜草花壇：江戸時代に考案された観賞方法



② 会期中は、100種類以上の園芸品種をご覧いただけます

アクセス

つくばエクスプレス「つくば」駅より

電車・バス つくバス 北部シャトル筑波山口行き「天久保(筑波実験植物園)」下車徒歩3分

・関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩3分または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分

自動車 常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km

圏央道 つくば中央I.C.から約7km

無料駐車場 約120台

